

# 若浜の子ども



平成30年6月1日 第2号

## 得意なこと 5月9日(水)いのちの日校長講話より

今日は得意なことを見つけるということについてお話しします。

最初に皆さんに聞いてみたいと思います。

「得意なことがある」という人は手を上げてください。(80%くらいの子が挙手)

「得意なことがあるとは言えない」という人は手を上げてください。(20%くらいの子が挙手)

私は小学生の頃、運動が苦手で50m競走では、学級でビリかその前でした。それで、「何か得意なスポーツを覚えたいなあ。」とっていました。小学校5年生の時にスポーツ少年団ができました。そこで「卓球だったら走らなくてもいいから、自分でもできるんじゃないかな。」と始めて始めました。小学校5・6年の2年間、自分なりにがんばったつもりでしたが、試合ではいつも2回戦で負けていました。

中学校では、スポ少で卓球をやっていた友達から誘われてソフトテニス部に入りました。厳しい練習のおかげで、地区大会でベスト8くらいまでは入れるようになりました。ボールを打つ練習のほかにしょっちゅう走っていたので、長距離を走るのが得意になって、中学2年生から学校の駅伝のメンバーに入りました。

駅伝の練習は苦しかったのですが、苦しいのを我慢して走り切った時の気分は、テニスの試合で勝ったときとは違う、いい気持ちでした。3年生の駅伝大会ではチームの優勝とともに自分が区間で1位になることをめざしました。チームとしては勝てませんでしたが、区間順位は2位でした。それが自信につながり、それから陸上競技にむかうようになりました。

高校、大学では5000m競走や駅伝に取り組みました。練習しても、なかなか記録が伸びなくて、つらい時もありましたが、駅伝を一緒に走っている仲間のおかげでやめることなく続けるこ

とができました。

大学に入ってから先輩に誘われて始めたのがクロスカントリースキーです。陸上の冬の練習にもいいからやってみろと言われて、それまで普通のスキーもやったことがないのに、2ヶ月後にはリレーで試合に出るはめになりました。もちろん始めて2ヶ月でうまく滑れるようになるわけではないのですが、自分以外のメンバーのおかげで、受け取った順位を守り、優勝することができました。その後春から秋は陸上、冬はクロスカントリースキーの生活を3年間続けました。1番がんばっていたのは陸上でしたが、大学を卒業するとき手元に残った盾やメダルは陸上でもらったものは1個もなく、スキーでもらったものばかりでした。



今、「得意なことがないなあ」と思っている人。がっかりすることはありません。どこで得意なことが見つかるか、わからないのです。チャンスは必ずあります。でも、そのチャンスと出会ったときに、「自分にはできそうにないなあ」と思うか「おもしろそう、自分に向いているかも」と思うかが分かれ道です。

やる前から「自分にはできない」と思っていては、だめです。「やればできるかもしれない」という気持ちでむかってみましょう。きっと新しい自分が見えてきます。

## 金メダルをめざして

競技を替えるということで、春先地区の陸上関係者で話題になったのは、陸上競技の短距離からボートに転向し、オリンピックをめざしている酒田四中出身の中條扇之介君です。中條君は小学校時代から山形県のトップクラスの選手として100mや200mで活躍してきた選手ですが、4月から東京の成立学園高等学校に入学し、JOCエリートアカデミーでボートのトレーニングを積んでいます。目標はオリンピックの金メダルを取ることと抱負を語っています。



(日本オリンピック委員会のホームページより)

# 地域の先生よろしくお願ひします



今年度も、クラブのご指導を地域の先生方にご協力いただけることになりました。どのクラブもやる気満々です。

<お世話になる地域の先生>

写真クラブ 池田巳喜雄さん、松川てい子さん

将棋クラブ 鳥前鐵雄さん

伝統文化クラブ（百人一首） 北村岩子さん

音楽クラブ 佐藤真樹さん

つりクラブ 田賀純一さん、大平光昭さん

# 自分の命は自分で守る



5月24日（木）～25日（金）6年生が仙台方面の修学旅行に行ってきました。

24日には、名取市閑上地区と石巻市立大川小学校の被災地を訪問し、慰霊の花束を捧げ、黙祷をしてまいりました。

閑上地区では、震災時に冷静に判断し行動することの難しさと、平凡で当たり前の日々が、実はありがたいことであるという

お話をお聞きしました。

また、震災遺構として保存することになった大川小学校では、娘さんを津波で亡くした語り部の佐藤敏郎さんから震災時の様子や家族の悲しみをお聞きしました。

大川小学校の被災については、4月に仙台高等裁判所から、石巻市と宮城県に14億3617万円の賠償を命ずる判決が出されましたが、今回被災地を訪問し、語り部の方のお話を伺うことで、お金では代えることができない命の重みと「自分の命は自分で守る」ことの大切さを改めて強く感じました。



# 水泳の季節になりました



5月29日(火)6年の児童と教職員でプール清掃を行いました。翌30日(水)に朝会でプール開きを行い、各学年の代表児童が今年の水泳学習のめあてを発表しました。

水に親しみ、泳力を向上させるとともに、水の怖さを知り、自然に対して謙虚な姿勢と安全に気をつけて行動する賢さを身につけることができるように指導していきます。

# 今年も元気に新若浜音頭

一昨年、約30年振りに復活した若浜音頭。6月3日の地区運動会での発表に向けて練習を行いました。

初めて踊る1年生には、6年生がマンツーマンで指導してくれました。やさしく面倒見のいい6年生。とても頼りになる存在です。

6月3日の本番をお楽しみに。



# 若浜っ子の活躍

5月13日、27日に開催された酒田市体育大会で、若浜っ子はそれぞれの自己記録を更新し、さらに下記のように入賞を果たしました。入賞した皆さんおめでとう。

酒田市体育大会 陸上競技 5月13日(日)

- 小学男子走り高跳び 第2位 6年 後藤 風汰 記録 1m15
- 小学男子ジャベリックリックボール投げ 6年 大江健太郎 第4位 記録 43m93
- 小学女子走り幅跳び 第6位 6年 井澤 美遥 記録 3m48

酒田市体育大会 水泳競技 5月27日(日)

- 小学女子200mフリーリレー (石橋結夏、堀はづき、齋藤雪羽、佐藤雫) 第3位 記録 2分22秒39
- 小学女子50m平泳ぎ 第2位 佐藤 雫 記録 40秒22
- 小学女子200m個人メドレー 第2位 佐藤 雫 記録 2分50秒29